

第4学年国語科書写（毛筆）学習指導案

日時 平成23年11月11日（金）1校時
児童 4年3組 男18名女12名計30名
指導者 T1 高橋和幸
T2 瀬川美智子

1 単元名 筆順と字形の関係を知ろう（光村図書P26～P29）

2 単元について

(1) 児童の実態

児童は、これまでに「点画の組み立て方」や「部分の組み立て方」について学習してきた。画の長さや画の方向、画の接し方などのポイントに気をつけながら書くことで、字形が整うことを理解してきている。授業の中でも、それらのポイントを意識して、丁寧に書こうとする児童が多い。

7月に行った意識調査では、児童のほとんどが「書写の時間が好き」と答えている。うまく書くことができたときの満足感や他の学習に役立つという思いで、意欲的に学習している児童が多い。しかし、毛筆で上手に書けないという理由で、苦手意識をもっている児童もいる。また、書写の時間や書写タイムでは、よい姿勢や正しい筆記具の持ち方で学習を進める児童が増えてきた。書写の時間はもちろん、他教科においても指導を繰り返し、学習したことの大切さを実感できるような授業の工夫をしていくことが必要であると考えます。

(2) 教材について

学習指導要領国語科第3学年及び第4学年の書写に関する事項は、「ア 文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くこと」「イ 漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くこと」「ウ 点画の種類を理解するとともに、毛筆を使用して筆圧などに注意して書くこと」である。

本単元では、筆順と字形の関係を理解して書くことをねらいとしている。筆順に従って書くことと字形が整うことを理解させることは、筆順への関心をさらに高め、字形を整えて書く意識を強めることへつながると考える。

(3) 指導にあたって

本単元では、筆順と字形の関係について学習する。学習を進めるうえで、次のことに留意しながら、指導にあたっていく。

- ・ 児童の気づきや話し合いを大切にしたい授業を目指す。
- ・ 正しい筆順で書くことと書きやすいことや字形を整えて書くことができるということを実感できるように、空書で体感したり、動画映像や点画模型で視覚的にとらえたりできるように工夫する。
- ・ 筆順と漢字の成り立ちの関係などについても取り上げ、筆順についての理解を深める。
- ・ 筆順の原則を理解し漢字を分類することで、他字への汎用性を高める。

3 単元の目標

【毛筆】 横画と左払いの筆順と字形の違いを理解し、「左右」などを書くことができる。

【硬筆】 毛筆で学習したことを生かして、筆順によって字形が変わる漢字を硬筆で書くことができる。

4 単元の評価規準

【関心・意欲・態度】 漢字の筆順と字形の関係を、関心をもって調べようとしている。

【知識・理解】

- ・ 筆順によって字形が変わることを理解している。
- ・ 筆順のきまりを覚えている。

【技能】

- ・ 筆順と字形の关系到気をつけて、「左右」などを書いている。
- ・ 正しい筆順で漢字を書いている。

5 単元の指導計画（4時間）

- | | |
|-------------------------------|-----------|
| (1) 筆順と字形の関係を理解する。 | … 1時間（本時） |
| (2) 筆順と字形の違いに気をつけて、「左右」を書く。 | … 1時間 |
| (3) 毛筆の学習を生かして、硬筆で「左右」などを書く。 | … 1時間 |
| (4) 筆順のきまりを覚え、正しい筆順で漢字を硬筆で書く。 | … 1時間 |

6 本時の指導（1 / 4）

- (1) 目標
横画と左払いの筆順と字形の違いを理解することができる。
- (2) 評価規準
【関心・意欲・態度】 漢字の筆順と字形の関係を，関心をもって調べようとしている。
【知識・理解】 筆順によって字形が変わることを理解している。
- (3) 研究に関わって
本時は，「気づく」場の工夫に重点をおいた指導を行う。
・正しい筆順で書くと書きやすいことや字形を整えて書くことができるということを実感できるように，空書で体感したり，必要に応じて動画映像や示範，点画模型で視覚的にとらえたりできるように工夫する。
・筆順や字形を意識できる練習用紙を工夫する。
- (4) 展開

段階	学習活動	教師の支援	準備・評価(◎)
気づく	1 教材の確認をする。 2 試書をする。 3 本時の学習課題を把握をする。 ・手本を提示し，試書と手本を比べて課題について話し合う。 筆順と字形の関係を知ろう。	・「左右」という字を書くことを知らせる。 ・筆順を確認し，課題作りにつなげる。 ・漢字の成り立ちについて取り上げ，筆順についての関心を高める。	拡大手本 点画模型
	4 基準を理解する。 〈基準〉 ・「左」は，横画を先に書いて，横画が短く，左はらいが長くなる。 ・「右」は，左はらいを先に書いて，左はらいが短く，横画が長くなる。	・「左」と「右」の似ている所，違っている所を話し合わせ，一画目と二画目の長さの違いに着目させる。 ・点画模型で長さを直接比較したり，必要に応じて動画映像や示範を見て確かめたりしながら，基準を視覚的にとらえさせる。 ・基準と逆となる「左右」の文字と比較させたり，空書をしたりしながら，正しい筆順と字形の関係を体感させる。 T 2：必要に応じて，示範を見せる。	点画模型 手本（一・二画目のみ） テレビ パソコン ◎漢字の筆順と字形の関係を，関心をもって調べようとしているか。 ◎横画と左払いの筆順と字形の違いを理解しているか。
できる 25	5 練習・批正をする。 ・筆順と字形を意識しながら，練習する。	・筆順を意識した練習用紙を中心に取り組ませる。段階的に字形を意識させていく。 T 2：個に応じて筆使いの指導を行ったり，練習用紙の使い方について助言したりする。	
まとめる ・生かす 5	清書・評価 6 清書をする。 7 評価・反省をする。 8 次時の課題を確認する。	・基準を確認し，清書に取り組ませる。 ・試書と清書を比較し，自己評価し，その後相互評価させる。 ・学習の振り返りを行い，それぞれ新たな課題を考えさせる。	